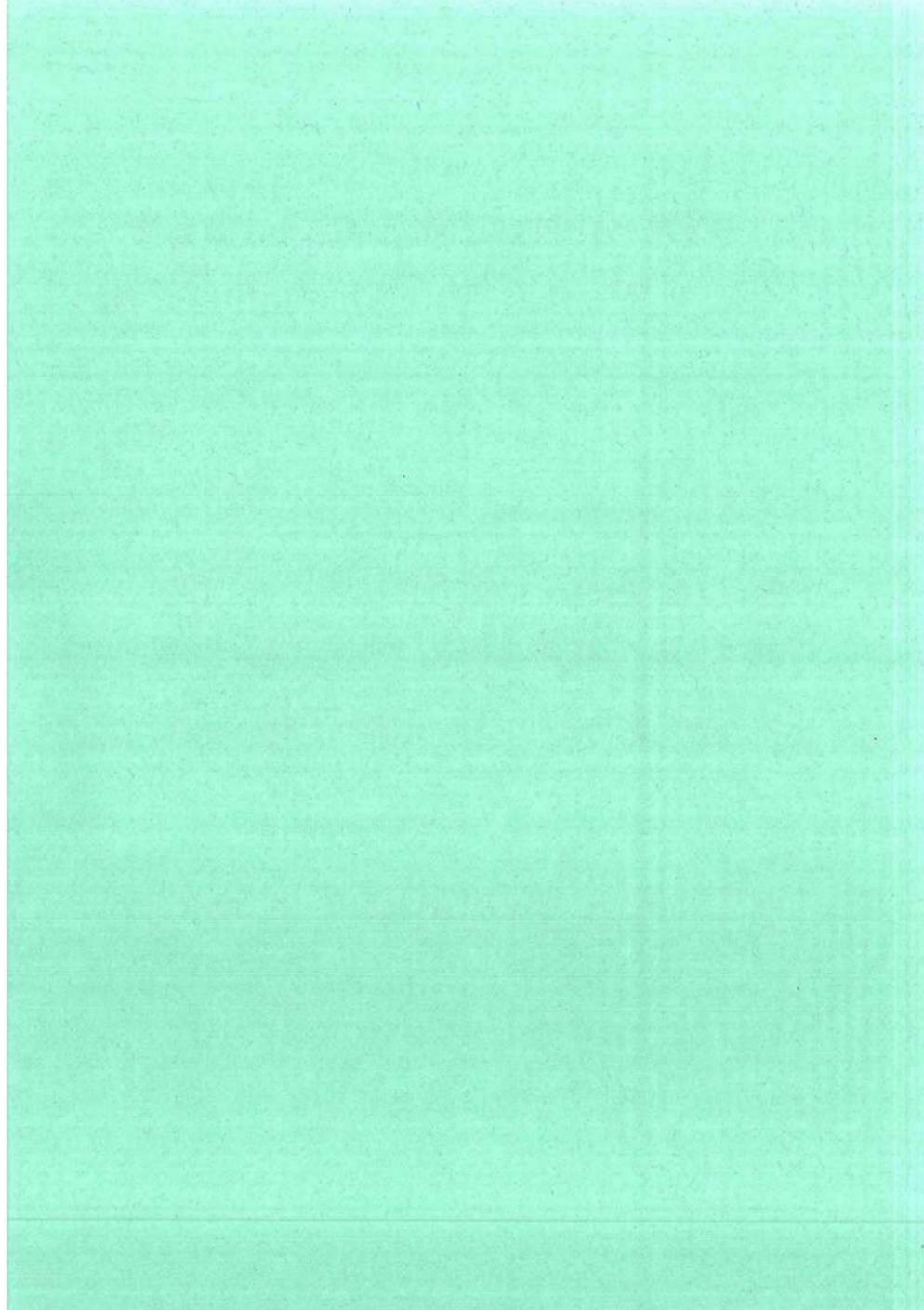


島本町立歴史文化資料館 館報第9号



平成 29 年 9 月

島本町立歴史文化資料館



## はじめに

御来館いただきますみなさまに支えられて、当資料館は開館9年目を迎えます。

昨年の実績を振り返ってみると、当資料館「旧麗天館」が国有形登録文化財「建造物」の登録を受けたのに引き続き、水無瀬神宮の「本殿・拝殿及び弊殿・神門及び築地塀・神庫・手水舎」が登録されました。今後も町内「建造物」の国有形登録文化財の登録に向けて教育委員会が調査を進めてまいります。

新年の恒例となっておりました「しまもとの郷土かるた」展は、前後期に分けて全札を展示させていただき、今年度で展示を終了いたしました。来館者のみなさまには、記念に絵札かるたの葉を、配布させて頂きました。

また、前年度の発掘調査により新たに見つかった遺物は、作業を済ませて、展示へと反映しております。

資料館コンサートを9回開催し、約800の方にご鑑賞いただきました。暑さ寒さも厭わずお越し下さる多くの方々に支えられ、資料館は今日も新しい来館者をお迎えしています。

ご来館いただく多くのみなさまに、魅力ある催しを企画するべく職員一同日々努力しております。

温かいご支援に感謝すると共に、何度もお運び頂けますよう今後とも、益々精進いたします。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

平成29年9月

島本町立歴史文化資料館  
館長吉村光子

## 目 次

はじめに	1
講演会	
「水無瀬神宮と大阪府の神社建築」	講師 地村 邦夫 氏 3
「若山神社としまもとの歴史」	講師 栗辻 卓 氏 5
展示	
常設展「ひと・もの・みち」	7
企画展「町内発掘調査成果速報展」	7
企画展「水無瀬神宮 国登録有形文化財答申記念」	8
秋の企画展「しまもとの氏神さまと神宮」	9
秋の展示「水無瀬駒 関連資料」実物展示	10
島本の神事展「若山神社 例祭」	10
新春企画展「しまもとの郷土かるた」原画展	11
民具・農具展「むかしのくらしと農家のしごと」	11
体験講座「石アート」	12
資料館ボランティアの活動報告	12
事業報告	
企画展・催物一覧	13
公募による催物一覧	13
入館団体	14
日誌抄録	14
利用状況	15
寄贈・寄託	15
受け入れ図書	16
町指定文化財一覧	18

## 講演会「水無瀬神宮と大阪府の神社建築」

平成 28 年 5 月 14 日（土）  
大阪府教育庁 文化財保護課  
地村 邦夫 氏



水無瀬神宮は、島本町広瀬に所在する神社です。

境内の建物には、本殿、拝殿及び幣殿、神門、築地塀がある他、神門を入って右手に神庫、左手に手水舎、客殿があり、さらに奥には茶室があります。本殿のご祭神は、後鳥羽天皇、土御門天皇、順徳天皇です。後鳥羽天皇は、承久の乱で敗れて隱岐に流され、皇子であった土御門天皇、順徳天皇も配流されており、その後水無瀬神宮に祀られることになりました。

さて、水無瀬神宮の宮司を継いでおられる水無瀬氏は、藤原一族の上級貴族であり、家格は堂上家の中の羽林家でした。羽林家は、最終的に大納言まで昇進できる上級の家柄です。鎌倉時代初期に後鳥羽上皇が水無瀬の地に離宮を建設しますが、隠岐に流された後、遺命により水無瀬信成・親成親子が水無瀬離宮のある水無瀬の地を治めて、上皇の御影堂を建立しました。室町時代の後期、後土御門天皇が隠岐より後鳥羽上皇の靈を迎えて、水無瀬宮というご神号をお与えになられました。江戸時代に入ってからも所領は常に安堵されて、水無瀬家は一目おかれる家格を保ってこられました。しかし明治時代に政府は神仏分離を行います。水無瀬神宮は、それまでの屋敷内の仏堂でしたが、ここに神社として歩み始めました。明治 6 年に官幣中社とされ、水無瀬宮と称して水無瀬氏が宮司に任命されました。また、土御門天皇と順徳天皇、2 人の皇子の靈も後鳥羽上皇と合わせてお祀りされました。後鳥羽天皇の没後 700 年にあたる昭和 14 年に官幣中社から官幣大社に昇格して水無瀬神宮となります。ここまでが、水無瀬神宮と水無瀬氏の歴史の流れです。

次に神社本殿の建築がどのようなものであるかを見ていきましょう。神社の本殿形式には、主なものとして神明造、大社造、住吉造、八幡造、春日造、流造があります。神明造は、伊勢神宮を思い浮かべていただくのが一番ですが、独立棟持柱を持つ切妻屋根の建物です。出雲大社に代表される大社造、大阪の住吉大社に代表される住吉造も切妻屋根であり、古い神社建築の姿をとどめています。八幡造は切妻の社殿を前後に並べて接続した形です。春日大社に代表される春日造の建物は、妻入りで、手前に庇がついています。流造は一番多い形式で、切妻造の手前側の屋根を長く伸ばすのが特徴です。この他、入母屋造の本殿も数は少ないのですが、あります。このように神社本殿は、切妻造が古い姿であり、その後春日造や流造が発展し、主流となります。また鎌倉時代になると入母屋造のものが現れ、桃山時代頃になると大型の本殿に採用されるようになりました。

次に具体的な事例として大阪府の神社建築を紹介します。まず住吉大社ですが、境内には住吉造の社殿として本殿四棟（国宝）と摥社大海神社本殿（重文）があります。これらの建築は江戸時代後期の遷宮で建て替えられたものです。次は流造の事例です。河内長野市の長野神社本殿（重文）は、重要文化財をすぐ近くで見ることができる神社ですので、こうしたお話しをする機会には必ず紹介しています。泉大津市の泉穴師神社本殿（重文）、岸和田市の積川神社本殿（重文）は屋根の反りが大きく、流造の様子がよく分かります。泉南市の男神社本殿（府指定）、吹田市の山田伊射

奈岐神社（府指定）は五間社流造です。流造は建物を横にいくらでも延ばす事ができるのですが、五間社は大変珍しいです。次は春日造の事例です。泉佐野市の意賀美神社本殿（重文）は、大阪府内では一番古い春日造の本殿です。新しい事例ですが、同市の蟻通神社本殿（登録）も春日造です。先の戦争中に飛行場を造ることになって、境内ごと移動し、新しい土地でほとんど元のまま再建されました。それから東大阪市の枚岡神社は「元春日」と呼ばれている神社で、春日造の本殿が四棟、横に並んでいます。この並び方も春日大社とまったく同じです。珍しい事例としては、八尾市にある玉祖神社本殿（市指定）です。これは、切妻造で屋根に反りがありますが、庇がなく、古い姿をとどめています。堺市の多治速比売神社本殿（重文）、富田林市の錦織神社本殿（重文）は、入母屋造の大型社殿の代表例です。このように春日造や流造が大半を占めていて、わずかに古式を残す住吉造や、入母屋造の大型本殿がある、というのが大阪府の神社建築の様相です。

では、ここまでを予備知識として、水無瀬神宮の建築を最後に紹介したいと思います。まず、既に重要文化財に指定されている建物として、客殿と茶室があります。客殿は桃山時代の建築で、福島正則の手によるものと伝えられます。茶室は茅葺で、皇室ゆかりの茶室と伝えられています。近年屋根の修理が実施され、美しい姿を見ることができます。

そして今回登録文化財となった建物です。まず本殿ですが、屋根は入母屋造です。江戸時代の前期、1600年代の中頃に、宮中の内侍所の建物材料をもらいうけて再建されたと伝えられ、水無瀬氏と宮中の深いつながりを感じさせるものです。拝殿及び幣殿は昭和4年に内務省技師の角南隆が設計して建てたもので、堂々とした建築です。神門の年代ははっきりわかりませんが、風食が進んでおり、たいへん古い建築であることが伺えます。本殿と同じ頃に建てられた可能性があると考えています。手水舎は、明治時代に近隣の村人から手水鉢が奉納されたことによって建てられました。明治時代には、神社の建築制限図というものがつくられ、建物の大きさ、天井の種類など神社の社格ごとに制限があったのですが、水無瀬神宮の手水舎と神庫は制限に従って建てられています。この建築制限は明治8年頃に定められ、大正元年に廃止されましたので、手水舎、神庫は遅くとも大正時代には建てられたものと考えられます。

こうして神社の諸建築を見てきますと、宮中の建物の部材を貰い受けて建てられた本殿の重要性は言うまでもありません。しかし水無瀬神宮の場合、江戸時代に領主の屋敷であったものが、明治時代に地域に根ざした神社として再出発した経緯があり、その歴史を示す手水舎は地域にとっての価値という点で重要です。また手水舎と神庫は目立つ建物ではありませんが、神社建築制限に従って建てられたものでありますし、拝殿及び幣殿は内務省の技師が造った昭和の堂々たる建物です。それぞれの建物の由来は違いますが、全体として水無瀬神宮境内が成り立っていて、それが地域の人々に今も鎮守の森として愛されているということが、お分かりいただけると思います。

歴史的に見て水無瀬神宮というのは、ご領主さんの屋敷の中の御影堂から出発しているという、全く他の神社とは違う歴史を持っています。そしてそれが地域の神社として、今に至っているという歴史をご理解いただき、地域の文化財としての誇りを持って長くこれらの建物、境内の環境を維持されるように、みなさんのご支援をいただければと考えております。

## 講演会「若山神社としまもとの歴史」 ～しまもとの神社について～

平成 28 年 11 月 19 日（土）  
若山神社 宮司 粟辻 卓 氏



本日は歴史文化資料館へお運びいただきましてまことにありがとうございます。この歴史文化資料館は麗天館と申しまして昭和 16 年に建築されました。祖父がこの建物の竣工の折に清祓いをさせていただきました。そこにまた、わたくしが立っているのも何かのご縁でございます。

神様のお話をします。水無瀬神宮の御祭神は後鳥羽天皇、順徳天皇、土御門天皇です。若山神社の御祭神は素戔嗚命、牛頭天王です。神社と神宮は御祭神が違います。「神宮」は、水無瀬神宮、平安神宮、明治神宮などたくさんございます。その中でも日本で一番大事な神宮さんと申したら伊勢の神宮です。「伊勢神宮」とはわたくしらは言わないです。ただの「神宮」としか言わないのです。それでわかるからです。お伊勢さんは 20 年に 1 回ご遷宮されます。一番古くて新しいお宮さんです。いっさい釘ほかそういうものを使わずて建てる素晴らしい建物でございます。つい先年ご遷宮がございました。それは技術の伝承と心の継承です。1200 年以上続いています。

神宮さんは格式と位が重要です。明治 4 年に社格と申しまして、太政官布告で、官幣大社、官幣中社、官幣小社、それから國幣大社、國幣中社、國幣小社、そういうふうな格付を政府がされました。水無瀬神宮は明治に官幣中社でしたが、昭和 14 年に官幣大社に昇格されました。それから、諸社です。諸社といいますのが府県にあります。若山神社はこの諸社の中に入るわけです。そういうふうに明治時代に格付けされたわけです。それが戦前まで続いておりました。敗戦後そういう言い方はもういたしません。

明治 5 年には、今まで國に功績のあった忠臣などを祀る別格官幣社が創設されました。代表的なのが、楠木正成公をお祀りしました湊川神社。他に京都の御所の西側に和氣清麻呂公をお祀りした護王神社さんがございます。それから、乃木希典公を祀った東京の乃木神社。伏見にも乃木神社ございます。それから徳川家康公をお祀りしている日光東照宮。京都に織田信長公を祀る建勲神社。それから豊臣秀吉公を祀る豊國神社が別格官幣社です。

それからまだまだ神社の話をしますとたくさんございます。ご存じの上賀茂神社、下鴨神社、これは、一の宮と申しまして旧国名は山城の國の一の宮です。賀茂別雷神社、賀茂御祖神社は、特に地方の中で大事です。摂津の國の一の宮は住吉大社。大和の國は大和神社。そういう風に旧国名で一の宮がございます。安芸の國（広島県）の一の宮は嚴島神社。下総の國（千葉県）は安房神社。このように有名な神社さんが多いです。京都の丹波の國の方に行きますと亀岡市に出雲大神宮さんがございます。社格は國幣中社で、一の宮です。そういう風に言い方が競合するんです。一の宮は官幣大社の神社が多いです。

もう一つ、律令の中に延喜式というのがあります。これは平安時代の法律ですね。神祇制度で神様の制度を神祇官が制定します。「延喜式神明帳」の中にのっている神社が式内社という神社です。これは全国に 2861 ありますが、残念ながら若山神社は外れております。平安時代から、そこの土

地の重要な神様であるということを式内社ということで、表しています。

ここから若山神社のお話になります。江戸時代、1600年代の島本の絵地図があります。若山神社は西天王山中腹にございます。絵地図には宮山と書いています。若山というのは今でいう地番なので、昔の人は若山とは誰も言いませんでした。最初は若山神社の社殿はなかったと思われます。神社の本来は神籬といいまして、地鎮祭の時に柵をたてまして、御幣をくくりつけまして、神様をお迎えして、御祀りするんです。すみましたら、神様に元のところに帰っていただく。それが最初の神社の起りです。社殿が、できましたのはずっとあとのことだろうと思います。社殿の「創建伝承」によると「山の中に鶴が巣籠りしている淨地がある。そこに空洞のある古い大木がある。その木を伐って神体を刻み斎き祀れ」と仰せられそのところが最初に神社になります。(大宝元年 701年)

神社の由緒、創建伝承の大変なところは、素盞鳴命と牛頭天王の関係でございます。牛頭天王というのは、インドの祇園精舎の守護神で、素盞鳴命と習合され祀られました。

素盞鳴命、八坂神社の主祭神です。神様の一番大事なのは厄除け、病気を静める、疫病を静めることです。平安京にいろいろな仕業をした怨霊を静めるための御靈会があり、それが祇園祭の起りです。

八坂神社と素盞鳴命さん、若山神社の創建は、非常に関係が深いのです。若山神社の御祭神は八坂さんと同じ神様でして、由緒の中に神の御神託がありまして、京都から西の方に祀る山、それが山崎の天王山。最初にあちらにお祀りせよとお告げがありました。そこよりも西にもっとよいところがある、それが若山神社の場所になる。それが西天王山になるわけです。天王山のいわは牛頭天王の天王からきている訳です。天王山を登っていくと酒解神社がございます。酒解神社は「自玉手祭来酒解神社」です。牛頭天王さんを祀ってあるので、天王山なのです。

島本の神社について最後に申します。大沢には早尾神社がございます。猿田彦命さんと応神天皇さんをお祀りしています。現在、8軒のうち6軒在住でございます。お祭りは年3回程よせていただいています。高齢化とお祭りの存続が危ぶまれてきている状態です。地域によりまして、本当に大変でございます。尺代は諏訪神社さん。こちらは60軒程が住んでおられます。御祭神は建御名方命です。長野県諏訪神社と同じ神様です。水無瀬の滝のところで名神のトンネルの入り口付近にある春日神社さんは、奈良の春日神社と同じ天児屋根命、藤原氏の御先祖をお祀りしています。それから山崎地区の椎尾神社さん、こちらは後鳥羽天皇さん、聖武天皇さん、それから素盞鳴命さんをお祀りしている神社でございます。こちらも山崎地区にはたくさん在住されていて前々からお祭りをされておりまして、12月15日も関大明神さんでお火焚祭というがございます。それから桜井の八幡神社さんは応神天皇を祀っています。それから高浜の武内神社さん。御祭神は武内宿祢命です。60軒程在住しております。私が住んでいます広瀬には栗辻神社というのがございます。惟喬親王さんと在原業平さんをお祀りしているということでございまして、昔は春日さんといっていたんですけども、江戸時代の中頃に栗辻明神と改称されて、栗辻家6軒が保持、管理しています。そういうことで、島本にはたくさん神社がございますので、またお参りされたら結構かと存じます。

島本では昔、何もないところに神社を設けていただいた。そして現在もお参りできるというのは本当にありがたいことでございます。

早口で端折ってお話をしたところもございまして、わかりにくいところもあったかと思います。長時間ご清聴いただきましてありがとうございました。

## 展示

### 常設展 「ひと・もの・みち」

島本町は、大阪府と京都府の境に位置し、桂川、宇治川、木津川の三川が合流する地にあります。町の中心を西国街道が通り、古来水陸の交通の要衝として栄えてきました。

その街道沿い国史跡桜井駅跡とJR島本駅のすぐ東側に当資料館があります。

写真は、江戸時代を通じて桜井村の庄屋を務めていた、清水家第十六代目が天明2年(1782)に開窯し、大正6年(1917)に廃窯となった「桜井里焼」です。後に史跡桜井駅跡では「楠公焼」の押印で販売され、土産物として喜ばれました。「桜井焼」「桜井里」押印のものもあります。



開館時間 午前9時30分～午後5時



休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)

12月29日～1月3日 その他臨時に開館・休館する場合があります。

入館料 無料

### 企画展 「町内発掘調査成果速報展」

展示期間：平成28年7月6日(水)～8月28日(日)

平成27年度は、広瀬遺跡1か所、青葉地区2か所、山崎地区1か所の計4か所で発掘（試掘調査）を行いました。

今回の速報展では、町内で行った調査の成果を知つていただくために、これらの写真パネルや出土遺物を展示しました。

特に、広瀬遺跡と青葉地区で実施した調査では、多くの遺物が出土しました。

広瀬遺跡では、奈良時代～室町時代の遺物や河川の跡と考えられる溝跡、建物の柱跡等が見つかり、特に溝跡からは、病気平癒を祈願する祭祀等に使われる土馬等の遺物も出土しました。

青葉地区では、弥生土器や堅穴建物跡が見つかりました。青葉地区の調査地は、遺跡の範囲外でしたが、今回の発見により、新しく青葉遺跡B地点という遺跡が設定されました。

私たちが暮らしているすぐそばに文化財が眠っていることを知つていただくために、これらの発掘調査の成果を紹介しました。



## 企画展 「水無瀬神宮 国登録有形文化財答申記念」

展示期間：平成 28 年 5 月 11 日（水）～ 6 月 5 日（日）

平成 28 年 3 月 11 日（金）の文化審議会文化財文科会において、水無瀬神宮の建造物 5 件を国の登録有形文化財（建造物）として登録するよう、文部科学大臣に答申を受けました。

平成 27 年に歴史文化資料館（旧麗天館）が国登録有形文化財（建造物）として登録され、本町で 2 例目となります。答申記念として建物図面や写真をまじえた展示を実施しました。

平成 28 年 8 月 1 日、正式に国登録有形文化財（建造物）に登録されました。

【水無瀬神宮 本殿】



【水無瀬神宮 拝殿及び幣殿】



【水無瀬神宮 神庫】



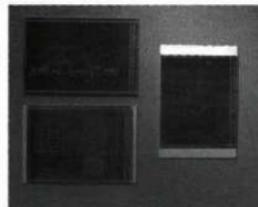
【水無瀬神宮 手水舎】



【水無瀬神宮 神門及び築地塀】



【展示風景】



【登録有形文化財とは】歴史上、芸術上、学術上価値の高いものを総称して「文化財」と呼び、建造物、絵画、彫刻、書籍等の有形のものが「有形文化財」とされます。

文化財のもつ価値から、保存及び活用の措置が特に必要される建造物が、国の「登録有形文化財（建造物）」として登録されます。

## 秋の企画展 「しまもとの氏神さまと神宮」

展示期間：平成 28 年 10 月 21 日（金）～ 12 月 11 日（日）

氏神さまとして村を守り続けている「若山神社」と、後鳥羽上皇・土御門天皇・順徳天皇を祀る「水無瀬神宮」にスポットを当て、ふたつの神社にある様々な文化財を紹介しました。

若山神社は明治維新までは「西八王子社」と呼ばれ、氏地は町内全域にわたります。神社では、平安時代後期の神像を所蔵しており、町の最古級のものとして町指定文化財にもなっています。

今回の展示では、神社の棟札・古地図の模写や、神社が所蔵する獅子頭の実物を展示しました。

右側の写真に写っている獅子頭は、収納箱の蓋裏に「御鹿之御箱 延宝九年酉 卯月仕直ス」とあり、延宝 9 年（1681）に新調されたものです。

全体は本漆仕上げで、やや黒味を帯びた赤漆を主とし、鼻頭・眉・耳・瞳などは黒漆、目や歯は黒漆の上に金色が施されています。作者は不詳ですが、保存状態は良好です。

また、栗辻宮司には、ご講演もしていただきました。



水無瀬神宮は 2 件の重要文化財に加え、平成 28 年 8 月に新たに 5 件の建造物が、国登録有形文化財（建造物）となりました。

今回の企画展では、新たに登録された建造物などの青焼き図面を中心とした展示を行いました。また、国登録有形文化財（建造物）に登録された建造物 5 件（「本殿」・「拝殿及び幣殿」・「神庫」・「手水舎」・「神門及び築地塀」）の現地説明会を行い、たくさんの方に見学していただきました。



## 秋の展示 「水無瀬駒 関連資料」実物展示

展示期間：平成 28 年 11 月 2 日（水）・3 日（木・祝）

例年行っている「水無瀬駒 関連資料」の展示です。  
町の文化祭開催に併せて、展示を実施しました。

「水無瀬駒 関連資料」のうち、「小将棋（八十二才銘）」漆書、「中将棋（八十六才銘）」墨書きと、駒の多さ、文字の珍しさで好評の水無瀬神宮 30 代忠寿氏制作の「大将棋」の展示を行いました。



## 島本の神事展 「若山神社 例祭」

展示期間：平成 28 年 12 月 14 日（水）～ 平成 29 年 1 月 29 日（日）

今回は、島本町の氏神さまとして地域を守る、若山神社の例祭を取り上げました。  
神仏分離による変革で、山の名をとって「若山神社」と称されるようになりましたが、明治維新までは「西八王子社」と称し、広瀬村・東大寺村・桜井村・神内村と水無瀬の里の総称として氏子中の信仰の中心にありました。

古来八つの官座があり、その一つに「獅子ノ座」があります。官座として伝承保存されたことにより獅子頭が守られてきました。

5 月 5 日の例祭は、祭神の牛頭天王の顯現であるという信仰意識の表れで、除厄神であり、豊穣の神であり、雷神・雨神でもある、この地の産土神として祭壇を設けて、獅子頭を祀ります。

神事は祝詞に始まり、玉串奉奠があり、巫女による剣の舞楽が行われました。



## 新春企画展 「しまもとの郷土かるた」原画展

展示期間：前期 平成 29 年 1 月 5 日（木）～ 1 月 15 日（日）  
後期 平成 29 年 1 月 17 日（火）～ 1 月 29 日（日）

資料館毎年恒例「しまもとの郷土かるた」原画展も、前回ですべての原画の紹介が終了しました。

今回の原画展では縮めくくりとして、全絵札 45 文字を前期・後期に分けてご覧いただきました。

前期は「い～ら」の 22 文字、後期は「む～京」の 23 文字の切り絵で描かれた絵札を展示しました。



## 民具・農具展 「むかしのくらしと農家のしごと」

展示期間：平成 29 年 2 月 1 日（水）～ 3 月 2 日（木）

冬期恒例の常設展示となりました本展は、昔使われていた民具や農具を展示し、むかしのくらしと農業について紹介しています。

当初より町内の小学 3 年生を対象に行われている社会科の体験学習コーナーに、高学年になっても繰り返し訪れてくれる子どもたちと再会できることは、職員の喜びでもあります。

毎年、昔を懐かしまれる大人の方も多く来館されます。



## 体験講座 「石アート」

日程：平成 28 年 7 月 28 日（木）・29 日（金）

平成 24 年度に調査した広瀬遺跡（七反畠）から大量の縄文時代の石器が出土しました。その際、石器ではない石も持ち帰り、その石に絵を描いてもらう体験講座「石アート」を今期も開催しました。

石に張るテープや紙なども多数用意し、見本のイラストを準備するなどの改良をしました。

3つ4つとたくさんの石に絵を描く子どももいました。子どもたちは描いた石を持ち帰り、楽しく盛会に終わりました。



## 資料館ボランティアの活動報告

1期、2期のみなさんと資料館担当職員で毎月一回の定例会を開催しています。

資料館内外で企画される活動に参加、協力いただき特に団体予約で説明を希望される来館者への解説や、年間を通じて行われるコンサートの対応をしていただきました。

また、「石アート」などの体験講座や、「むかしのくらしと農家のしごと」展の体験学習コーナーにも参加していただいているます。

今年は、ボランティア講習会として「島本町の自然」、「下張り古文書剥がし」の講習会も行いました。



## 事業報告

### 企画展・催物一覧

開催日	企画展名
平成28年5月11日(水)～6月5日(日)	企画展「水無瀬神宮 国登録有形文化財答申記念」
平成28年7月6日(水)～8月28日(日)	企画展「町内発掘調査成果速報展」
平成28年10月21日(金)～12月11日(日)	秋の企画展「しまもの氏神さまと神宮」
平成28年11月2日(水)～11月3日(木・祝)	秋の展示「水無瀬駒 開運資料・実物展示
平成28年12月14日(水)～平成29年1月29日(日)	島本の神事展「若山神社 例祭」
平成29年1月5日(木)～1月29日(日)	新春企画展「しまもの郷土かるた」原画展
平成29年2月1日(水)～3月2日(木)	民具・農具展「むかしのくらしと農家のしごと」

開催日	催物
平成28年4月24日(日)	第59回コンサート「上田晶子ヴァイオリンリサイタル」～春の調べ～
平成28年5月14日(土)	講演会「水無瀬神宮と大阪府の神社建築」地村邦夫氏
平成28年5月29日(日)	第60回コンサート「森村アキラ・中尾智恵ピアノリサイタル(連弾)」 弦しい初夏の陽射しに寄せて
平成28年6月18日(土)	第61回コンサート 秋田さき子・久津那綾香ソプラノ・ヴァイオリンデュオ リサイタル～初夏の贈り物～
平成28年7月28日(木)～7月29日(金)	体験講座「石アート」
平成28年9月19日(月・祝)	第62回コンサート アコースティック ロック トリオ 「よる」
平成28年9月25日(日)	第63回コンサート 植田琴巳トランペッタリサイタル～秋風に誘われて～
平成28年10月2日(日)	第64回コンサート 藤井博子メゾソラーリサイタル～秋風にのせて～
平成28年10月15日(土)	第65回コンサート 上田真実 フルートリサイタル
平成28年11月19日(土)	講演会「若山神社としまもの歴史」栗田卓氏
平成29年3月18日(土)	第66回コンサート 上田哲子 ヴァイオリンコンサート
平成29年3月26日(日)	第67回コンサート 村瀬響「春を告げるコンサート」

### 公募による催物一覧

開催日	内容
平成28年4月2日(土)	「古民家再生協会」クラフト作り
平成28年4月28日(木)	「歌声さん」童謡クラブ
平成28年5月13日(金)～5月20日(金)	「こみみずの資料・写真バネル展」写友島本
平成28年5月17日(火)	「一緒に歌いませんか」島本町婦人協会童謡クラブ
平成28年5月22日(日)	「音楽フェスティバル・消費者まつり」島本町商工会・にぎわい創造課
平成28年6月28日(火)	「詩吟発表会」真心吟詩会
平成28年7月1日(金)～7月8日(金)	「七夕飾り」島本竹工房
平成28年8月20日(土)	「かぐや姫のタペ・竹のオブジェ展示」島本竹工房
平成28年10月16日(日)	「素人着席」てんてん
平成28年10月18日(火)	「一緒に歌いませんか」島本町婦人協会童謡クラブ
平成28年10月22日(土)	「活動発表会」童謡クラブ・歌声さん
平成28年10月29日(土)	「活用、しまもと環境・未来ネット・緑プロジェクト
平成28年11月5日(土)	講演会「乱世に生きる～構公正成の生涯～」島本町楠公父子の会
平成28年11月6日(日)	「和」一小広漫団
平成28年11月8日(火)～11月12日(土)	「わたしの好きな島本絵画展」文化祭実行委員会
平成28年11月13日～12月4日 毎日曜日	「郷土史研究家 岡本史郎の蔵書譲渡会」退職教職員の会
平成28年11月26日(土)	「コンサート・バネル展」大阪府立島本高等学校
平成28年12月18日(日)	「第10回社会討論」府中社
平成29年2月5日(日)	「島本拾う会」
平成29年3月12日(日)	「一日体験入隊」日本ボイスカウト島本第一団
平成28年4月～平成29年3月 毎週火・木曜日	「朝市」島本町農業振興団体協議会

## 入館団体

## 日誌抄録

平成28年度(2016)		平成28年度(2016)	
4月7日	ドコモOB歩ごろ会(高橋市)	4月2日	公募による展示「合衆家再生協会」
4月8日	西宮靴光あるの(西宮市)	4月14日	資料館ボランティア定例会
4月22日	合歡の会(三島南)	4月24日	第59回コンサート・上田昌也「ファオーリ」リサイタル
4月26日	平成28年度新規図書整理班研修(島本町)	4月28日	公募による展示「愛妻さん」愛妻クラブ
5月1日	シニア100+ネット(高橋市)	5月11日	企画展「水無瀬神宮、国費假設別文化財申込み記念」(~5/9)
5月2日	久御山町 仏壽会(京都府)	5月12日	JCOM取材
5月14日	大阪歴史大学(吹田市)	5月19日	公募による展示「みみづくの資料・写真」(ネル展)写真島本 (~5/20)
5月17日	桂川岡小学校同窓会(京都市)	5月14日	資料館ボランティア定例会
5月28日	北九州市金剛地区(北九州市)	5月17日	講演会「水無瀬神宮・大祇殿の神社建築」(講師:池田邦夫氏)
5月31日	自衛隊大阪地区協議会本部(大阪市)	5月22日	公募による展示「絶対にやめさせんか!島本町婦人会会員団クラブ
6月4日	街連で歩く会(高橋市)	5月29日	公募による展示「消費者まつり」(ごわい)新造屋
6月10日	カワセキ会(高野町)	6月10日	公募による展示「鳥音音楽フェスティバル」島本町商工会
6月12日	藤井寺市会(藤井寺市)	6月29日	第60回コンサート・東村葉蔵・中尾智里ピアノ・ソナタ(連闇)
6月18日	高台屋とおむすび(長崎市)	6月19日	資料館ボランティア定例会
7月4日	歴史と古美術をくまね(高橋市)	6月16日	第61回コンサート・秋田たかこ・久津川雅経管ソプラノ・ヴァイオリンデュオ・リサイタル
7月10日	編集部・ヨシ原研究室(高橋市)	6月26日	公募による展示「神奈良県立歴史資料館」心作詩会
7月27日	五条市議会議員会議(五条町)	7月1日	公募による展示「七ヶ給祭」島本竹工房 (~7/8)
8月24日	朝日カルチャースクール(高橋市)	7月4日	消防訓練
8月26日	東北学院大学・ゼン研修(宮城県)	7月8日	資料館ボランティア定例会
9月11日	あゆーう会(大阪府内)	7月9日	町内無観覧会(成瀬源蔵) (~8/28)
9月14日	日本本学連大學生歴史學会世博1班(茨木市)	7月20日	体験講座「五ノート」(~7/29)
	日本本学連大學生歴史學会世博3班(茨木市)	8月20日	公募による展示「竹のオブジェ展示」島本竹工房
	秋方ゴランシアの会(吹田市)	9月2日	資料館ボランティア定例会
10月7日	岡山県立井原教科研究会員会(山陽農大)	9月19日	第62回コンサート・山口久美子・ロックトリオ「よる」
10月14日	高野山地主教科研究会(高野山)	9月25日	第63回コンサート・植田琴子ヒラバッハリサイタル
10月19日	ONCC健康座上会(大阪府内)	10月2日	第64回コンサート・藤井博子ソロ・リサイタル
10月23日	道ing ユニバーグ(大阪市)	10月4日	資料館ボランティア定例会
10月29日	作業所わくわく(高木町)	10月19日	第65回コンサート・上田真典奏(フルート)リサイタル
10月30日	公明会・四種競技会(四種園町)	10月16日	公募による展示物「春・苦庵でんてん」
11月6日	JR西日本高被支社(高被市)	10月19日	公募による展示「絶対にやめさせんか!島本町婦人会会員団クラブ
11月6日	中学生歴史研究会(島本町)	10月21日	秋の企画展「しまとの長さきよ神宮」(~12/11)
11月7日	高橋市立第一中学校(高橋市)	10月22日	公募による展示「活版免差会」愛妻クラブ・歴史さん
11月17日	東京電機エンジニアリングスクール(茨木市)	10月23日	水無瀬宮宣縁縁手式・授与式・見学会
11月18日	ららぽーと(吹田市)	10月29日	公募による展示「壁張りしまと隠岐・朱来キラ・鏡プロジェクト
11月22日	春光会(茨木市)	11月1日	秋の展示「竹の魔術師・講道館資料・陶器展示」(~11/3)
11月23日	三重防災歩こう会(京都府)	11月4日	資料館ボランティア定例会
11月24日	友愛・ごども学舎(川西市)	11月8日	公募による展示「竹世紀」(島本町)
11月25日	吹方ガーデンラブ(吹方市)	11月15日	中学生歴史学習
11月26日	鳥取西高等学校四年生窓戸ウォーキングの会(鳥取県)	11月16日	公募による展示物「竹世に生きる~楠木正成の生涯~」島本町鶴公父子の会
11月30日	鹿鹿庭文学サークル(三豊市)	11月16日	公募による展示物「物語」一小川探検
12月7日	高崎市立大学歴史研究会(高崎市)	11月19日	公募による展示「わからぬ生きな島本繪画展」文化祭実行委員会 (~11/12)
12月9日	高麗日高公民館ハイキングサークル(高麗市)	11月20日	中学生歴史学習
12月15日	大山崎町ふれあいの会(大山崎町)	11月13日	公募による展示物「島本歴史研究会 周本四郎の麗雲墨漬会」退職教職員の会
12月17日	緑風会(吹田市)	11月19日	講演会「近江土社としまとの隠岐」(講師:草津卓氏)
1月26日	歴史観察会あるある	11月20日	公募による展示物「島本歴史研究会 周本四郎の麗雲墨漬会」退職教職員の会
1月28日	大山崎ふれあいの会(大山崎町)	11月26日	公募による展示物「シンセート・ハカル」大阪府立鳥本高等学校
2月3日	島本町立第二小学校 三年生(島本町)	11月27日	公募による展示物「島本の歴史研究会 周本四郎の麗雲墨漬会」退職教職員の会
2月8日	島本町立第四小学校 三年生(島本町)	12月2日	資料館ボランティア定例会
2月14日	恋歩会(交野市)	12月4日	公募による展示物「島本の歴史研究会 周本四郎の麗雲墨漬会」退職教職員の会
2月15日	島本町立第一小学校 三年生(島本町)	12月14日	島本の麗雲墨(玉山神社)例祭 (~12/29)
2月21日	友歩会(高麗市)	12月19日	公募による展示物「10回目社会討論」原中社
	和楽会1(高槻市)	1月5日	新春企画展「しまとの郷土かるた」原画展 前期(~1/15)
	和楽会2(高槻市)	1月6日	資料館ボランティア定例会
2月23日	島本町立第三小学校 三年生(島本町)	1月17日	新規開拓「しまとの郷土かるた」原画展 後期 (~1/23)
	近畿ライクリング美会(高槻市)	2月1日	民芸・農具展(むらひのからし)農具展 (~3/2)
2月25日	櫛公会(高木町)	2月5日	公募による展示物「島本始うら」
3月6日	島本町立緑野市農耕印式	3月5日	島本町立緑野市農耕印式
3月8日	フレンドリーカップ(大阪市)	3月12日	公募による展示物「一日体操入門」日本ボースカウト島本第一団
3月10日	シニーカ自然大学校 そらごと(大阪市)	3月17日	資料館ボランティア研修会(島本町の自然)
3月11日	沢辻会(高槻市)	3月18日	第66回コンサート・上田智子 グィオーリコンサート
3月12日	笑フレンズ(寝屋川市他)	3月22日	資料館ボランティア研修会(下條文子美術館)
3月28日	慈恵女性会(京都府)	3月26日	第67回コンサート・村瀬謙・春を歌ひけるコンサート
		3月29日	資料館ボランティア研修会(下條文子美術館)
		3月31日	資料館ボランティア研修会(島本町の自然)

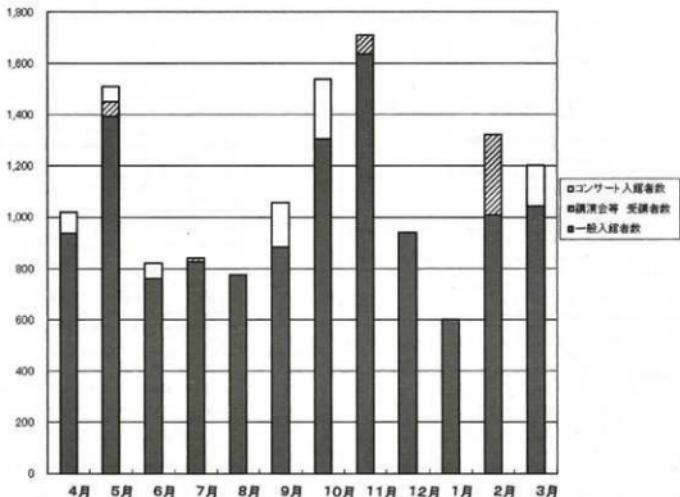
年間 65 団体入館

## 利用状況

平成 28 年度入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般入館者数	938	1,392	761	828	773	883	1,303	1,634	940	802	1,009	1,043	12,104
講演会等 受講者数	0	58	0	14	0	0	0	76	0	0	312	0	460
コンサート入館者数	81	60	58	0	0	174	234	0	0	0	0	158	765
総入館者数	1,019	1,510	819	840	773	1,057	1,537	1,710	940	802	1,321	1,201	13,329

入館者数(人)



## 寄贈・寄託

平成 28 年度は 482 点の寄贈をいただきました。ありがとうございました。

内容	点数	内容	点数
農具 等	5	消防ポンプ	1
家具調度	5	玩具、小倉百人一首、琴	4
タライ、オヒツ、イレコ、桶	5	メダル	1
高壺、皿、楠公焼茶碗 等	18	書籍、教科書、地図、資料 等	443
合計			482 点





## 町指定文化財一覧

島本町文化財保護条例が平成 20 年 7 月 1 日に施行されました。

島本町文化財保護審議会にて審議していただき、下記の文化財を指定しました。

平成 21 年度 島本町指定文化財 第 1 号	平成 24 年度 島本町指定文化財 第 4 号
名 称 : 水無瀬駒 関連資料	名 称 : 勝幡寺 薬師如来立像
指 定 日 : 平成 21 年 4 月 14 日	指 定 日 : 平成 24 年 4 月 1 日
所 有 者 : 水無瀬神宮（個人）	所 有 者 : 勝幡寺
所 在 地 : 広瀬三丁目	所 在 地 : 山崎四丁目
種 類 : 有形文化財	種 類 : 有形文化財
種 別 : 美術工芸品（歴史資料）	種 別 : 美術工芸品（彫刻）
員 数 : 小将棋（漆書・八十二才銘）一揃 合計 39 枚 飛車が欠落	員 数 : 1 車
	品質・形状 : ヒノキ材・割矧ぎ造りか・ 彫眼・漆箔仕上げ
時 代 : 中将棋（墨書・八十二才銘）一揃 合計 91 枚 歩兵が欠落	法 量 : 像高 150.1cm
	時 代 : 鎌倉時代
時 代 : 中将棋（漆書）残欠四枚	
時 代 : 象戲図 一巻、附 象戲図 一巻	
時 代 : 安土桃山時代	
平成 22 年度 島本町指定文化財 第 2 号	平成 26 年度 島本町指定文化財 第 5 号
名 称 : 神像（伝 聖德太子七歳像）	名 称 : 勝幡寺 元三大師みくじ
指 定 日 : 平成 22 年 4 月 5 日	関 係 資 料 一式
所 有 者 : 若山神社	指 定 日 : 平成 26 年 4 月 1 日
所 在 地 : 大阪市立美術館 寄託	所 有 者 : 勝幡寺
種 類 : 有形文化財	所 在 地 : 山崎四丁目
種 別 : 美術工芸品（彫刻）	種 類 : 有形文化財
員 数 : 1 車	別 別 : 民俗（有形民俗）
品質・形状 : ヒノキ材・一本造り・ 彫眼・彩色仕上げ	時 代 : 江戸時代（一部推定を含む）
法 量 : 像高 35.8cm	品 目 : みくじ箋の版木、みくじ箱、 みくじ竹、みくじ算箋
時 代 : 平安時代後期	
時 代 :	
平成 23 年度 島本町指定文化財 第 3 号	平成 27 年度 島本町指定文化財 第 6 号
名 称 : 宝城庵 薬師如来立像	名 称 : 須恵器 大甕
指 定 日 : 平成 23 年 4 月 1 日	指 定 日 : 平成 27 年 4 月 1 日
所 有 者 : 宝城庵	所 有 者 : 島本町教育委員会
所 在 地 : 桜井三丁目	所 在 地 : 桜井二丁目
種 類 : 有形文化財	種 類 : 有形文化財
種 別 : 美術工芸品（彫刻）	種 別 : 美術工芸品（考古資料）
員 数 : 1 車	員 数 : 1 口
品質・形状 : ヒノキ材・一本造り・ 彫眼・彩色仕上げ	法 量 : 口径 52.6 cm 器高 105.0 cm 最大胴部径 107.8 cm (底部から 65.9 cm の地点)
法 量 : 像高 96.5cm	時 代 : 容量 522.68
時 代 : 平安時代後期	時 代 : 奈良時代末期から平安時代
時 代 :	
平成 23 年度 島本町指定文化財 第 1 号追加	
名 称 : 将軍馬日記	
指 定 日 : 平成 23 年 4 月 1 日	
所 有 者 : 水無瀬神宮（個人）	
所 在 地 : 広瀬三丁目	
種 類 : 有形文化財	
種 別 : 美術工芸品（歴史資料）	
時 代 : 17 世紀初期	
員 数 : 一冊	

島本町立歴史文化資料館 館報 第9号  
平成28年度版(2016)

発行 島本町教育委員会  
〒618-8570  
大阪府三島郡島本町桜井二丁目1番1号  
TEL 075-961-5151

発行日 平成29年9月

印刷 株式会社 西川印刷所  
〒567-0828  
大阪府茨木市舟木町18-30  
TEL 072-634-7644



